

各 位

2023年02月13日
株式会社リットーミュージック

ギターの製作・調整・リペアのプロが長年の研究と考察を経て導き出した、自分でできる「ギターやベースを理想の音に近づけていくためのドライバー調整法、そしてちょっとしたアイデア」をまとめた本



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『絶対に音が良くなる「ギター調整」』を、2023年2月18日に発売します。

島村楽器で開催されている、「必ず音が良くなる調整会」。自分のギターを持っていくと、島村楽器の凄腕リペアマン、ルシアー駒木さんがその場で調整をしてくれて、より好みに近い音が出るギターに調整してくれる、という催しです。


そのルシアー駒木さんが「ギターの音を良くするために自分でできる調整」のために知っておきたいこと、基本となるノウハウなどをお伝えする本です。


本書の目標はあくまでも「ギターの音色を自分の好みに寄せていくこと」。

ある人には「悪いギターの音」でもある人には「良いギターの音」だったり、音の好みは個人的で千差万別。「絶対に音が良くなる＝絶対にあなたの好みの音に近づく」です。

そのためギターの音色ではなくギターの演奏性や音程感を向上させる目的の一般的なメンテナンスやノウハウ（ネックの反りやオクターブ調整など）は本書の対象外ですが、ドライバーを使

用した著者の技法と音色変化の関係性などを学んだ結果、自分のギターを自分の好みの音色にチューンナップできるようになっていきます。



 第1章

ギターの「良い音」って一体なんだろう

エレキ・ギターやアコースティック・ギターをあなたが弾いた時に鳴っている音を、あなた自身が好きだと思うか、嫌いだと思うか、その違いはなんでしょう。そのギターが「鳴るかどうか」と答える人もいます。ではそもそもその「鳴るギター」というのはどうということなのか。まずはその部分から考えていってみましょう。

●いったいギターの「どこが」鳴っているのか？

少し物理的な話をしてみましょう。例えばある物体に与えられたエネルギーは、さらに新たな別の要素が加わらない限り、その物体内で勝手にエネルギーが増幅されたりはしません。では最初に与えられたエネルギーがどのように使われていくのかということを考えてみると、とてもシンプルな話になります。

ここで、ひとつ想像を働かせてみましょう！ここにとても重くて硬い鉄板があるとします。その鉄板の2箇所にネジや釘を刺して、そのネジとネジを緊

4

音色調整に関して 気になることを著者に質問!

Q&A

・ネジを締めて音色を調整するところ
に注目しはじめたきっかけは
なんでしたか？

 リペアなどを学んでいた頃、自分に技術を教えてくれる人たちがたくさんいたわけですが、そういった方達がパーツ交換とかではないメンテナンス的な調整をした時に、お客さんに説明をしますよね。「こういう風に音が変わりました」みたいな。それを聞いて「なるほどホントだ」ってしっくりくる時と「え？全然わからない」って時と両方あったんですよ。そして自分がメンテナンスなどをやるようになったら、みなさん「良くなりました」って言ってくれるんですよ。でもみんながそう言ってくれるのが、お世辞なのか本気なのか、その区別が自分ではつかなくてモヤモヤしてたんです。本当に音が変わったのか変わってないのか。どこまでがブラシーボ効果、思い込みなのかという(笑)。ただ思い込みは思い込みで悪いことじゃないと思ってるんですよ。例えば「頑張ってアルバイトして買ったギターだからいい音がする」みたいなね。音楽だからそういう気持ちに左右されるものがあっていいとは思いますが、だからこそ逆にブラシーボとかではない要素っていうのをちゃんと明確に確認したくなったんですよ。[駒木さんに肩を叩いてもらったからもう

77

■書誌情報

書名：絶対に音が良くなる「ギター調整」

著者：ルシアー駒木

定価：本体 1,800 円 + 税

発売：2013 年 2 月 18 日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3118317127/>

CONTENTS

- 第1章 ギターの「良い音」って一体なんだろう
- 第2章 調整する際の考察要素は？
- 第3章 ギターの音色調整の準備ポイント
- 第4章 実際にギターの調整をしてみましょう！
- 第5章 追加・交換パーツで音色を変える
- 第6章 最後にとっておきの…反則技
- Q & A 音色調整に関して気になることを著者に質問！
- 付録1 重量増減による音色変化の加工作業
- 付録2 音色に大な影響がある塗装について

PROFILE

ルシアー駒木

駒木敦（こまき・あつし）。ルシアー（Luthier）は弦楽器製作家／弦楽器職人の意。現在は島村楽器の浅草橋ギター&リペア工房の技術面の要として活躍。ヴィンテージ・ギター販売からキャリアをスタート、その後 ESP でアーティスト使用楽器の修理、雑誌掲載用などのオーダーメイド・ギターの製作、ギタークラフト&リペア講師業務、島村楽器での店頭でのリペア業務などを経て、現在では楽器開発から海外ギター工場での技術指導までを手がける。国内アーティストはもちろん、アメリカやスウェーデンといった国外のアーティストからスペインの伝統的なギター製作現場まで高い信頼を得る国際派技術者。近年はマハラージャンのゴールデンギターの製作も話題に。さらに自身の名を冠したギターも発売、本間昭光氏をはじめとしたプロ・ミュージシャンたちが使用している。そうした経験を元にしたエレクトリック・ギター／ベース、アコースティック・ギターの入門書やメンテナンス DVD など数多く手がける。ラジオ「SAME'SBAR」への出演など、その活動の場をさらに広げており、ウェブ連載中の『ルシアー駒木のギターよもやま話』は多くのフォロワーを抱える。

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、T シャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等の Web サービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp